



社協だより

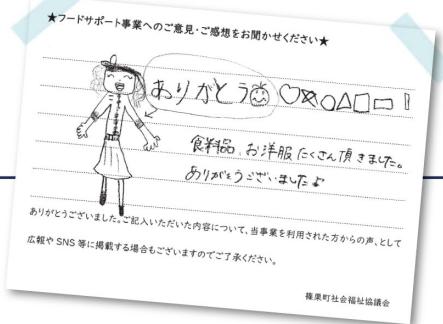
2月8日、必要な方に寄付で集めた食料品を渡すフードサポート事業を行いました。子育て中の52世帯に、たくさんの食料品・生理用品などをお渡しすることができました。



フードサポート事業開催しました

受け取った方からの声

- コロナの影響で仕事が不安定なのでとても助かっています。子どもが女の子なので生理用品もとても助かります。
- 感染が増えている中、家庭内感染をどう防げばいいのか不安に思っています。たくさんの食料品をいただき、私も篠栗町のために何かできたら、と思います。
- 学級閉鎖などで出勤日が減り困っていました。一緒に受け取りに来た子どももとても喜んでいます。
- 思うように外出できず、人とふれあう機会がないので、(受け取りにくると)幸せな気持ちになれます。助けられた分頑張って生きようと思えました。



ご寄付いただいた方は下記のとおりです。

皆さまのご厚意に感謝申し上げます(順不同)

- NPO法人フードバンク福岡さま
- 篠栗郵便局さま
- (一社)ソーシャルワークオフィス福岡さま
- ベンタナヒルズ区いきいきサロンさま
- サンケイ株式会社さま
- 養護老人ホーム敬光園さま
- 浄土真宗妙福寺さま
- 阿部 弘さま
- 藤 萌さま
- 山一ニアマリー アルバーノさま
- 千原 美紀さま
- 野崎 以久子さま
- 藤崎 福光さま
- 他匿名25人の皆さん

お米などの購入費として、赤い羽根共同募金配分金を活用しました。

～気軽にできるボランティア～ スマイルプロジェクト

ボランティアセンターでは、小中学生や地域の皆さんと一人暮らしの高齢者(安否確認のための乳酸飲料配布事業に登録がある方)への年賀状を作成しました。

年賀状には干支の寅のイラストや「体に気をつけておすごしください」「寒いのでかぜをひかないように気をつけてください」といったあたたかいメッセージが書かれました。

受け取った河上 美智代さんは「年賀状が届いたとき、嬉しさと驚きで夢のようだった。孫に会えておらず、小学3年生から『あたたかい目で見守っています』と言葉をもらい支えになっている。本当にありがとうございました」と話されました。

多くのボランティア活動が中止となっている今、ボランティアセンターは新たな活動や地域のつながりづくりを推進中です。

これまでたくさんの方にご協力いただき、年賀状だけでなく折り紙などの素敵なお手紙が多数集まっています。作品やメッセージを受け取った高齢者や障がいのある方たちからは「メッセージがとても嬉しかったです」「気持ちのこもった作品を見て心があたたかくなりました」など喜びの声が届きました。

今後もスマイルプロジェクトを通じて、社会参加のきっかけ・地域のつながりづくりを推進します。

素敵な作品をお届けしました



養護老人ホーム篠栗敬光園



ゆうあい三つ葉



小規模多機能型ホーム
こころの家 尾仲



三つ葉の里

ご寄付ありがとうございます

社会福祉協議会へ次の方々からご寄付がありました。厚くお礼申し上げます。

いただいたご芳名は、社会福祉事業に有意義に活用させていただきます。

一般寄付として

■わたげの会さま

有志で定期的に廃品回収をされている「わたげの会」さまよりご寄付をいただきました。



香典返しとして

■徳重 百合子さま 上町区

遺族 徳重 嵩士さま

■古屋 和加枝さま 尾仲区

遺族 古屋 嘉徳さま

■城戸 剛さま 田中区

遺族 城戸 英代さま

(1月受付分)

衣裳室を閉業します

社会福祉協議会貸衣裳室は、令和4年3月31日をもちまして閉業いたします。長きにわたり多くの皆さんにご利用いただき、厚くお礼申し上げます。

3月末までの貸出・見学などは完全予約制です。まずは電話でお問い合わせください。

